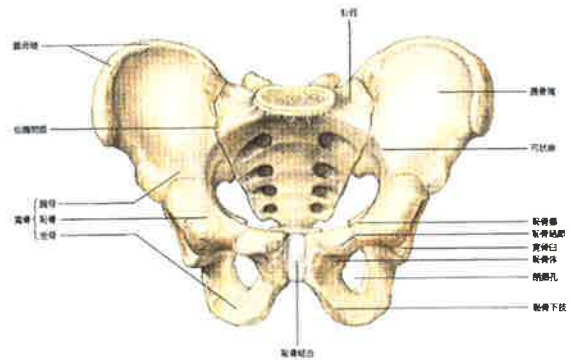
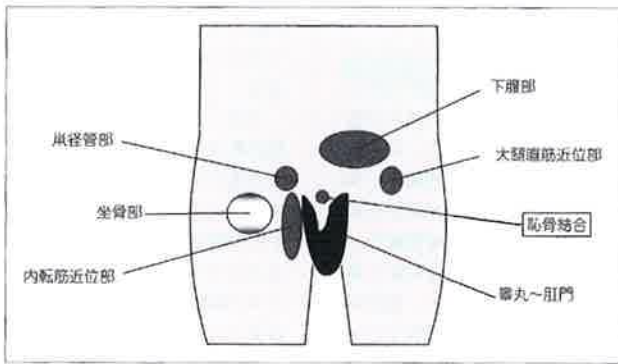


ちこっけつごうえん 恥骨結合炎

恥骨結合炎とは恥骨結合周辺の疼痛を主症状とする疾患である。これは、スポーツをする選手・学生などにみられる疾患です。競技別には、サッカー・ラグビー・陸上（長距離）・野球アメリカンフットボールなどのスポーツに多く見られます。これはスポーツ活動での反復練習によって、恥骨結合周囲の筋肉が収縮し、反復する力となり恥骨結合部への痛みとして発症したものと考えます。現在では単径部痛症候群として、恥骨結合炎を含む病態として扱われています。



症状としては、恥骨結合部の痛み・下腹部痛・単径部痛・大腿部内側の痛みなどとしてあらわれます。(図)

治療としては、痛みの強い急性期の場合は安静が大切です。また、消炎鎮痛剤の併用も効果的です。

恥骨結合炎は完治するまでに時間がかかります。スポーツ選手は、筋力を落とさないように上半身・体幹部などのトレーニングを痛みのない範囲で行ってもらいます。また競技によってはフォームの改善などを行ったりします。

治療方法・トレーニング方法についての不明な点がございましたら

スタッフまで相談ください